

授業改善推進プラン 算 数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等		項 目	内 容
令和4年度 第4学年	令和4年7月	学習に関する児童の実態・課題	○単純な計算処理は、反復練習を積み重ねることで、できるようになる児童は多い。 ▲問題解決の場面で、自分で考えそれを表現することができる児童が非常に少ない。 友達の考えを聞いて理解を深めたり、教科書に掲載されている解法を読み取ったりすることも苦手で、思考力・表現力に課題があることが分かる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・自分で考えたことを適切に表現し、伝える力 ・題意を正しく読み取り、論理立てて考え、適切に処理する力 ・必要な数値を取捨選択する力
		具体的な授業改善の方策	・線分図、テープ図など、考えたことを表現するための方法を掲示しておき、適宜確認できるようにしておく。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○互いに教え合い、課題を解決して表現しようとする力が身に付いた。 ▲学習の定着が不十分なため、既習事項を活かして課題を解決することに課題がある。題意を正しく読み取り、正しい情報を精査する力が課題である。
令和5年度 第5学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○粘り強く課題に取り組むことができる。 ○5月に行った算数到達度調査では、小数の仕組みの問題に関しては、80%を超える正答率だった。また、変わり方調べの問題に関しても70%の正答率を出すことができた。 ▲題意を理解し、立式することが難しい児童がいる。 ▲筆算の足し算や引き算、かけ算やわり算など、基本的な四則計算が身に付いていない児童がいる。 ▲様々な解法を導き出すことが難しい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・足し算や引き算、かけ算やわり算などの基本的な四則計算を正確に行う力 ・数直線や表を活用し数量関係を捉える力 ・既習事項を活用し、問題解決に向けて粘り強く考える力
		具体的な授業改善の方策	・問題場面を数直線や表に表し、立式しやすくする。 ・学習の最後に、練習問題を解く時間を設け、基礎学力の向上を図る。 ・複数の教材を準備し、それぞれの児童に合った類題や応用問題を選択させるようにする。 ・どの単元の授業の導入でも既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○互いに教え合って課題を解決し、表現しようとする児童が増えた。 ▲学習の定着が不十分なため、既習事項を活かして課題を解決することに課題がある。
令和6年度 第6学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	○課題に対して、既習事項を用いて答えを出すことに意欲的な児童が多い。 ▲四則計算の仕方や公式を理解しているが、なぜその式が立つのか、公式になるのかを説明することが難しい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・線分図や数直線などを書いて問題の構造を理解し、正しく立式できる力。 ・文章題から問題場面を的確に捉え、既習事項を活用しながら問題解決を図り、表現する力。
		具体的な授業改善の方策	・線分図を描いて問題の構造を理解してから正しく立式できるようにする。 ・単元の終わりに文章問題や応用問題に自分の力で取り組む時間を設ける。 ・自力解決場面では、自分の考えを式や言葉を使って表す活動を取り入れる。また、自分の考えをペアなどで伝え合う活動を取り入れる。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

斤

々